

石綿（アスベスト）含有建材の特徴

建 材 名（一般名） （通 称）	石綿含有押出成形セメント板（石綿（アスベスト）含有建材はタイプ ） ECP
---------------------	--

規 格 等

- ・規格は JIS A 5441 押出成形セメント板（ECP）に準じているが、石綿（アスベスト）含有建材のタイプ は JIS の規格外品である。

製造期間

- ・製造開始は、1970 年である。
- ・製造終了は、2004 年である。

建材の特徴

○性質、寸法、形状など

- ・表面の形状により、次のような種類がある。
 - フラットパネル（F）：表面を平滑にしたパネル
 - デザインパネル（D）：表面にリブ及びエンボスを施したパネル
 - タイルベースパネル（T）：表面にタイル貼付け用あり（蟻）溝形状を施したパネル
 - ロックウール充填品（R）：中空部にロックウールを充填したパネル
- ・一般的には非耐力壁用材料として用いられる。

・寸法

種類	厚さ (mm)	働き幅 (mm)	長さ (mm)
フラットパネル	35、50	450、500、600	5000 以下
	60、75	450、500、600、900、1000、1200	
	100	450、500、600	
デザインパネル	50、60	600	
タイルベースパネル	60		4000 以下

○主な施工部位、使われ方など

- ・外壁材（耐力壁としては用いない）としては、厚さ 50mm 以上の製品が使用される。
- ・間仕切壁材としては、厚さ 60mm（ロックウールを充填する場合あり）の製品が使用される。

施工例



リフォーム（メンテナンス）関連

- ・押出成形セメント板協会のホームページ(<http://www.ecp-kyoukai.jp>)では、解体・改修方法について「石綿含有押出成形セメント板の解体・改修工事における石綿対策」の資料を公開している。